

現在、三井鉱山・三井石炭の現地各事業所で、言い合わせたように駐車場のことが問題になっている。本紙では何回となく真実を伝え、1日も早く会社が改善するよう呼びかけたが、ナシのつぶてと同様で何のこたえも返ってこず、問題を大きくしているだけ。も早や、ゴマカシのようなことではどうにもならなくなった。会社は、新年度こそ真剣に検討し、すでに爆発している状態を1日も早く改善せよ。これは、切実な声である。(マンガは、三川指導部九分會新聞「はぐるま、から」)



# 爆発状態の三川鉱駐車場

## 路上にはみ出した車

### 限度を越えた乱脈ぶり

駐車場の問題がやかましくなってきた折から、三川指導部九分會新聞「三川はぐるま」はその第百四号(十一月十五日発行)で次のような記事をのせ、うったえている。

現在の駐車場は、早くから収容限界を越えていて、多くの車が路上駐車をせざるを得ない。わかついていながら横内掲示板には、「はみだし車が、会社人事、組合指導部前、駐車場内通路に平均して十台、十三間道路方面に約十台、理髪店横の通路脇に平均して十台、旧汽罐場前通路に約二十台である。

車で通勤しようにも、置く場所がないとあきらめている人たちもいます。

車通勤者は、出勤時にまず駐車できるかどうか気がかり。毎日が苦になっています。

そのために、人より一刻も早く、二番方で早い人は十一時三十分には駐車場に着いて、職場のある人も七時の早朝出勤であるし、二十分を過ぎる頃はほぼ満車になるという。

去る十月には、職場のTさんが駐車違反のレッテルをばられ、つい先日にも正門前でベタリ。「あれは六千円げなばん」とは守衛さんの話。薄給のわれわれにはたまったものではな。

かといって、小川開駐車場はソッポ向かれています。

勝負ごとが大好き(連合)総理府は十二月十二日仕事以外の生活行動実態を発表。十五歳以上の男女約三万八千人の昨年三月の一週間で、男子の場合趣味・娯楽が五〇・四％で一位。勉強・研究三〇・一％、スポーツ二五・六％の順。趣味・娯楽のトップは読書、マージャン、パチンコなど勝負ごとで五〇・五％。女子は音楽に映画鑑賞だった。

### 三川鉱門で見 た新労の陰謀

三池新労組は、昨年十二月二十一日、かねてたくらんでいた同労組港務支部の切り棄てをめぐり、組合員投票を行なった。

写真は、三川鉱正門で公然と行なわれたその一つ。看板に「港務所分駐に伴う無記名投票所」。

いま思ひだされるのが、三池製作所の分駐独立のときのこと。三池新労組の反対をおしきり、「分駐こそが労働者にもあわせ」のスローガンでたもとを分かつてきた三池新労組。いまの状態は果たしてどうか。会社の野望はそこにはだしにされているが。

### おりげん執行部は おたふくの面かぶった鬼

#### 特定休日返上に新労組員は怒る

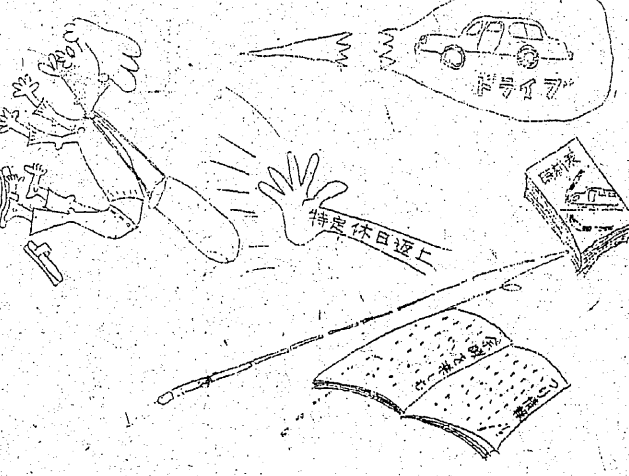
昨年の十一月十五日、新労幹部が特定休日会社に戻り、記念すべき日である。この記念すべき日に発行された新聞「三池新労」を、新労組員の間で読まされてくれた。

この中に「あぐさぐさ働いて稼ぎまくってばかりで、生活を楽しむことを忘れた日本人はアニマルじやないか……」とある。なるほど、その指摘であり、編集である、と感心しながら読ませてもらった。

だが、どうしても理解できない。なほこの文は、マンガなども宮浦指導部電気分會新聞「文棟」が、入院先の逆沢病院(玉

### CO患者死亡

CO患者・蒲池謙三さん(四十四歳、若尾市緑ヶ丘駅前十五)に新たな怒りが広がっている。次号でくわしく伝えるが、組合は心から哀悼の意を表わした。



せつかく斗い取った「特定休日返上」このテ、はどこから出て来たんだ!

### 希望は—— 失いかけた時こそ 職場新聞「よあけ」の「反省」

きび え、行動してきたらどうかと考えた時、自信がないのだ。いやむしろ引込込み案の方が強かったのではないうか、と物価値 思う気持があるからである。

上げ、 「希望は、失いかけた時にこそ最も必要なものである」との格言を口ずさみながら、新しい年を迎える。



三川鉱正門の新労組三川支部の投票所。組織の切り棄てのための陰謀だ。